

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 明治薬科大学

(2) 大学名

明治薬科大学

(3) 大学の位置

〒204 - 8588
東京都清瀬市野塩二丁目522番1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(スミヨシ ヨシミチ) 住吉 義通 (平成15年11月)		
学長	(クボ アキノリ) 久保 陽徳 (平成16年4月)		
研究科長	(イシイ ケイタロウ) 石井 啓太郎 (平成21年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成19年度に報告済の内容 (19)

平成22年度に報告する内容 (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 生命創薬科学専攻(修士課程) 修士(薬科学)	年 2	人 20	人 40	基礎となる学部等 薬学部 生命創薬科学科

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平均入学定員 超過率	備考
	平成22年度		
A 入学定員	(-) 20	倍 1.35	
志願者数	(-) 28		
受験者数	(-) 28		
合格者数	(-) 28		
B 入学者数	(-) 27		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.35		

- (注)・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	備考
	平成22年度	
1年次	[-] 27	
2年次	/	
計	[-] 27	

- (注)・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 2 年度	計 [-]	(累積) 計 [-]	[- %] 0.0%
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	平成 2 2 年度 27人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学
 - ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他
- ・ 「平成 2 2 年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成 1 9 ~ 2 1 年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<薬学研究科 生命創薬科学専攻 修士課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	薬学総合講義	1前	1			1	3	3	5 -4	5 -2		教員を追加し、講義をより円滑に進行できるように図った(22) 担当 高取 薫(講師) 飯田 克巳(助教) 石田 洋一(助教) 林 賢(助教)
	学術論文総説講演	1-2通	2			1	3	3	5 -4	5 -2		教員を追加し、きめ細かな指導ができるように図った(22) 担当 高取 薫(講師) 飯田 克巳(助教) 石田 洋一(助教) 林 賢(助教)
	製剤学特論	1後	1				1		4 -2			兼任教員を追加し、講義内容の充実を図った(22) 担当 寺田 勝英(講師) 米持 悦生(講師)
	インターンシップ	1前			1	1		1				科目責任者を研究科長と定め、教員を追加(22) 担当 石井 啓太郎(教授)
創薬化学コース特論・演習	精密合成化学特論A	1前		1		1			1			教員を追加し、講義内容の充実を図った(22) 担当 樋口 和宏(講師)
	精密合成化学演習A	1前		1		1			1			教員を追加し、演習内容の充実を図った(22) 担当 樋口 和宏(講師)
	精密合成化学特論B	1後		1		1						
	精密合成化学演習B	1後		1		1						
	医薬品化学特論A	2前		1		1						
	医薬品化学演習A	2前		1		1						
	医薬品化学特論B	2後		1		1						
	医薬品化学演習B	2後		1		1						
	機能性分子化学特論A	2前		1		1			2			教員を追加し、講義内容の充実を図った(22) 担当 杉山 重夫(講師) 野地 匡裕(講師)
	機能性分子化学演習A	2前		1		1			2			教員を追加し、演習内容の充実を図った(22) 担当 杉山 重夫(講師) 野地 匡裕(講師)
機能性分子化学特論B	2後		1		1						教員を追加し、講義内容の充実を図った(22) 担当 林 賢(助教)	
機能性分子化学演習B	2後		1		1				1		教員を追加し、演習内容の充実を図った(22) 担当 林 賢(助教)	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩分，km) 平成21年9月 薬用植物園等拡充のため、 土地を取得した (22)					
	校舎敷地	65,667㎡	0㎡	0㎡	65,667㎡						
	運動場用地	13,248㎡	0㎡	0㎡	13,248㎡						
	小 計	78,915㎡	0㎡	0㎡	78,915㎡						
	そ の 他	3,677 990 ㎡	0㎡	0㎡	3,677 990 ㎡						
	合 計	82,592 79,905 ㎡	0㎡	0㎡	82,592 79,905 ㎡						
(2) 校 舎	専 用	50,293㎡	0㎡	0㎡	50,293㎡	短期大学と共用					
	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	31室	演 習 室	8室	実験実習室	105室	情報処理学習施設	1室	語学学習施設	0室	
					(補助職員 0人)		(補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	生命創薬科学専攻				14		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
		生命創薬科学専攻	99,450〔16,243〕 (96,450〔16,043〕)	5,819〔5,666〕 (4,819〔4,666〕)	5,222〔 5,222〕 (4,222〔 4,222〕)	1,676 (1,598)	1,090 (1,023)	5,548 (5,548)			
	計	99,450〔16,243〕 (96,450〔16,043〕)	5,819〔5,666〕 (4,819〔4,666〕)	5,222〔 5,222〕 (4,222〔 4,222〕)	1,676 (1,598)	1,090 (1,023)	5,548 (5,548)				
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	1,595㎡		320席		169,667冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	1,373㎡										
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当り研究費等	1,100千円	1,100千円	図書購入費	44,200千円	44,200千円	44,200千円			
	共同研究費等	78,400千円	78,400千円	設備購入費	38,500千円	38,500千円	38,500千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		900千円	900千円								
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、補助金、収益事業からの寄付金									

(注)・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3)教室等」「(5)図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	明治薬科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学研究科 薬学専攻博士課程(後期)	3	10		30	博士 (薬学)	0.13	昭和52年度	東京都清瀬市野塩 2丁目522番1	
臨床薬学専攻博士課程(後期)	3	5		15	博士 (臨床薬学)	0.06	平成8年度		
薬学研究科 薬学専攻博士課程(前期)	2				修士 (薬学)		昭和50年度	東京都清瀬市野塩 2丁目522番1	平成22年4月1日より 学生募集停止
臨床薬学専攻博士課程(前期)	2				修士 (臨床薬学)		平成8年度		
薬学部 薬学科	6	300	若干名	1,500	学士 (薬学)	1.09	平成18年度	東京都清瀬市野塩 2丁目522番1	
生命創薬科学科	4	60	若干名	240	学士 (薬科学)	1.12	平成18年度		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 薬学研究科 生命創薬科学専攻 修士課程 >

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	池田 玲子	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 感染制御学特論A 感染制御学演習A 生命創薬科学課題研究						
専	教授	石井 啓太郎	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 製剤学特論 機能性分子化学特論A 機能性分子化学演習A 生命創薬科学課題研究					薬学総合講義 学術論文総説講演 製剤学特論 機能性分子化学特論A 機能性分子化学演習A 生命創薬科学課題研究 インターンシップ	科目責任者を研究科長と定めた
専	教授	大石 一彦	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 機能制御再生学特論B 機能制御再生学演習B 生命創薬科学課題研究						
専	教授	川崎 知己	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 精密合成化学特論A 精密合成化学演習A 生命創薬科学課題研究						
専	教授	古源 寛	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 医薬品化学特論B 医薬品化学演習B 生命創薬科学課題研究						
専	教授	齋藤 直樹	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 医薬品化学特論A 医薬品化学演習A 生命創薬科学課題研究						
専	教授	櫻庭 均	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 ゲノム創薬学特論B ゲノム創薬学演習B 生命創薬科学課題研究						
専	教授	佐藤 準一	平成22年4月	薬学総合講義 学術論文総説講演 ゲノム創薬学特論A ゲノム創薬学演習A 生命創薬科学課題研究						

専	講師	樋口 和宏	平成22年4月	薬学総合講義						薬学総合講義	担当分担者として追加した
				学術論文総説講演						学術論文総説講演	
				(研究指導)						(研究指導)	
										精密合成化学特論A	
										精密合成化学演習A	担当分担者として追加した
専	助教	小川 泰弘	平成22年4月	薬学総合講義						薬学総合講義	担当分担者として追加した
				学術論文総説講演						学術論文総説講演	
				(研究指導)						(研究指導)	
										機能制御再生学特論B	
										機能制御再生学演習B	担当分担者として追加した
専	助教	天竺桂 弘子	平成22年4月	薬学総合講義							
				学術論文総説講演							
				(研究指導)							
専	講師	高取 薫	平成22年4月							薬学総合講義	平成22年4月1日付昇任、大学院担当として発令し、各科目等につき分担することにより内容の充実を図る
										学術論文総説講演	
										創薬資源科学特論A	
										(研究指導)	
専	助教	飯田 克巳	平成22年4月							薬学総合講義	平成22年4月1日付大学院担当として新たに発令し、各科目等につき分担することにより内容の充実を図る
										学術論文総説講演	
										(研究指導)	
専	助教	石田 洋一	平成22年4月							薬学総合講義	平成22年4月1日付大学院担当として新たに発令し、各科目等につき分担することにより内容の充実を図る
										学術論文総説講演	
										生体分子機能学特論A	
										生体分子機能学演習A	
										(研究指導)	
専	助教	林 賢	平成22年4月							薬学総合講義	平成22年4月1日付採用、大学院担当として発令し、各科目等につき分担することにより内容の充実を図る
										学術論文総説講演	
										機能性分子化学特論B	
										機能性分子化学演習B	
										(研究指導)	

(注)・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
13	3	6	2	24	0	13	3	9	5	30	0	
(13)	(3)	(9)	(5)	(30)	(0)	[0]	[0]	[+3]	[+3]	[+6]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
		該当なし	

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 生命創薬科学専攻 修士課程>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
ア 設置の趣旨及び必要性 イ 大学院薬学研究科生命創薬科学専攻の教育構想 (博士課程の設置を目指した構想) 本学大学院薬学研究科に生命創薬科学専攻博士課程 (前期2年の課程、および後期3年の課程)設置を 企図した。	前期2年の課程を修士課程として平成22年4月に 設置した。後期3年の課程については、平成24年4月 設置に向け、鋭意検討中である。

- (注)・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び
 法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については
 適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 「FD実施委員会」を学内に設置している</p> <p>関係規定： 明治薬科大学学部学則 (教育内容等の改善) 第12条の3 本学は、教育内容及び授業方法の改善・開発、教員の資質向上を図るため、組織的な研修・研究活動 (ファカルティ・ディベロップメント)を行うものとする。 2 前項の活動を行うため、委員会を設置するものとし、委員会に関する規程は、別に定める。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 全体会議は年に2、3回開催し、研修会前は少人数の実施ワーキンググループを組織している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD研修会の内容、授業改善への方策など</p> <p>実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のFD研修会 ・ 授業評価アンケート <p>b 実施方法 授業改善のFD研修会(第1部講演会、第2部ワークショップ)</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 平成20年度FD研修会(平成20年9月1日実施、93%参加)、 平成21年度FD研修会(平成22年3月9日実施、85%参加)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業評価アンケート後、教員から学生へのコメントを掲示し、教員の授業改善への意識改革に役立っている。</p>

- (注)・ 「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的に沿った授業が進められており、それに合致した人材が養成できる状況にある。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年3月25日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、薬系大学等に各1冊を本年度中に配布予定

・大学ホームページ上に公開

記入例)

・平成22年度に評価機関()の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 (予 定))
- b 公表予定時期 (平成22年12月31日まで)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承 諾 す る)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(追って連絡させていただきます)

(注)・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学)」としてください。